



概要

氏名 河口 知明

【雅号】 (河口 光秋)

推薦団体 熊本市

主な活動地 熊本県

河口 かわぐち

知明 ともあき

【雅号】

河口 かわぐち

光秋 みつあき

本賞

河口知明氏は、熊本県伝統的工芸品に指定されている肥後象がんを五十九年にわたって制作されている工芸家です。

氏は、昭和三十六年、十五歳で人間国宝である故米満太平氏に師事、肥後象がんの道に入られました。昭和四十四年に独立と同時に、県重要無形文化財保持者である故田辺恒雄氏門下になり、弛まぬ努力と技術の研鑽に努められて、肥後象がん師の中でも特に高い技術を有する一人です。昭和五十四年に県美展に入選、翌昭和五十五年には県美展奨励賞を受賞するなど多数の賞を受賞されています。

また、熊本県伝統工芸館や熊本市くまもと工芸会館で肥後象がん教室や実演を継続的に行うなど、肥後象がんの普及や後進の育成にも力を注ぎ、技術の継承に努められています。

このように、氏は、伝統的工芸品の保存継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和三十六年 人間国宝の肥後象がん師・故米光

太平氏に師事

昭和四十四年 独立。県重要無形文化財保持者田

辺恒雄氏の門下に

昭和五十四年 県美展 入選

昭和五十五年 県美展 奨励賞

昭和五十六年 県美展 協会賞

昭和五十七年 西部工芸展 九州朝日放送賞

平成八年 アジア工芸展入賞

平成二十三年 西部工芸展 鹿児島放送賞

役職

- ・熊本県伝統工芸協会会員
- ・一般社団法人くまもと工芸協会会員